

新年度の 主な取り組み



対話と共創でつくる

2025年度の予算が決まりました。今号では、予算の概要や主な取り組みを紹介します。
お問い合わせ／企画・調整課 (TEL)918-5010 (FAX)918-5101)

もっと／やさしいまち明石へ

市民の笑顔があふれる明石市に

エスディー・エス
市は、「SDGs 未来安心都市・明石」を目標に掲げ、さまざまな立場の人と対話を通して新たな価値を共に創る「共創」によるまちづくりを進めています。



にぎわい

インクルーシブ



もっと／やさしいまち明石

子ども

安全安心

自然



令和7年度 予算概要

一般会計	1366億656万円
特別会計	702億4854万円
企業会計	253億7875万円

※詳しくは市ホームページへ

明石市 令和7年度当初予算

検索

みんなで笑顔
いっぱい
のまちをつくらう



対話と共創第2ステージへ

課題解決と政策への反映をより進めるため
タウンミーティングやワークショップを施策の
各段階、各場面に応じて開催していきます。

タウンミーティングを
パワーアップします！

予定している
主なテーマ

- 市民病院のこれから (5月22日予定)
- あかしSDGs後期戦略計画
- (仮称) 公共施設配置適正化計画



子どもたちの声を
しっかり聞いていきます



若者会議

若者の声の実現
に向けて、毎月
フォローアップ
ミーティングを
実施します。

子ども会議

子どもたちによる
こどものための
「こども計画」を策定
するため複数回開催
します。



今秋

(仮称) 対話と共創のウィーク
の開催を予定
市内各地で対話の場を
広がっていきます。

にぎわいのあるまちづくり

大蔵海岸の魅力向上

- 神戸マラソンの開催協力
- (仮称) 大蔵海岸みらいプロジェクトの実施
- 既存施設の改修
ベビーラームの設置や
シャワー施設の改修

1117万円



まちづくりプロジェクトの推進

- 旧市立図書館跡地の整備
明石公園内の旧市立図書館を撤去し、2027年度の供用
開始に向けて新施設の整備に取り組みます。
- 西明石駅南地区の整備
JR西日本と連携し、駅前広場や
西明石地域交流センターなどの
整備を進めます。
- 二見図書館の運営
市内3館目となる図書館が二見に
オープンしました。



本とつながる

本からつながる



こどもを核としたまちづくり

市独自の5つの無料化の継続に加え、多様な学びの保障など、一人
ひとりの子どもに寄り添ったきめ細やかな取り組みを進めます。

全中学校・明石商業高校の 体育館に空調を整備

3億7000万円



● 遮熱シートの設置

民間提案制度による試行的な取り組みとして、
遮熱シートを1～2校に設置します。

こども・若者の健やかな育ちを応援

5735万円

● プレーパークの開催

プレーパークの普及啓発と
人材育成に取り組みます。



● こども若者交流施設

「あかしユースポート」の開設
小中学生・高校生みんなが利用できる施設が
西部地区に4月1日オープン



● (仮称) あかしこども計画の策定

すべての子どもが幸せな生活を送ることができるよう、
子どもたちの声を聞きながら策定を進めます。

妊娠・子育てまると寄り添い支援

1336万円

● 1か月児健康診査の費用助成

● 5歳児健康診査(発達相談)を拡充

希望者に行っていた問診を、すべての5歳児の保護者に拡充します。

公立幼稚園の5歳児クラスを30人学級へ

1450万円



インクルーシブのまちづくり

みんなが支え合いながら、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、
すべての人にやさしいまちづくりを進めていきます。

介護・障害分野の 福祉サービスにおける環境整備

12億321万円

● 介護・障害分野におけるDXの推進

介護ロボットの導入支援や、
ICTタグによる見守り環境の整備を進めます。

● 人材育成

市内の福祉事業所に勤務する職員や法人への
研修や試験の費用助成を行います。

住み慣れたこの
まちでいつまでも



● 施設整備

高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らし続けることが
できるように、施設の整備補助を行います。

強度行動障害のある人への グループホーム利用支援

2900万円

強度行動障害のある人などの支援に対応できるグループホームの
整備などを進めます。



豊かな自然を活かしたまちづくり

豊かな自然を次世代につなぐ取り組みなど、持続可能なまちづくりに
取り組みます。

ゼロ・カーボンあかし(脱炭素)

2億3600万円

● 家庭向け脱炭素化設備導入支援

太陽光発電設備や蓄電池などを設置する人へ補助を行います。

● 事業者向け脱炭素経営支援制度

脱炭素経営に向けた補助金を拡充するほか、事業者の取り組みに
応じた伴走支援を実施する支援制度を創設します。

● 公共施設への太陽光発電設備の設置

ゼロ・ウェイストあかし(ごみ減量・再資源化)

1020万円

● 単純指定ごみ袋の導入

袋の規格やデザインの検討を進めます。

● 家庭用生ごみ処理機などの費用助成

家庭用生ごみ処理機などの購入費用の1/2を助成(上限あり)

ネイチャーポジティブの実現

630万円

● (仮称) 水とみどりをつなぐ ネイチャーポジティブ宣言

● 生物多様性あかし戦略の改定

● 神戸市との連携協定に基づく取り組み

生物多様性フォーラムや環境フェアの
開催、両市の市民を対象とした環境体験
などを行います。



● 教育現場との連携による環境教育の推進



安全・安心のまちづくり

安全・安心な暮らしを守るため、地震や台風などの自然災害への備え
などに取り組んでいきます。

多様な被災者への配慮とニーズへの対応

1221万円

避難所への備蓄倉庫の整備や医療的ケア児の
ための電源を確保するほか、個別避難計画の
策定など、要配慮者への避難支援体制の構築
を進めます。



防犯カメラによる地域の防犯力向上

4610万円

● 地域の防犯カメラの設置・更新費用の補助額を拡大

1台あたり上限12万円補助します。
(ポール設置の場合、上限18万円)

● 全中学校への防犯カメラの設置

1校あたり2～4台設置予定

